

同窓会館 起工

目標額1億円まであと1,400万円



〒387-8501 長野県千曲市屋代1000
発行所 長野県屋代高等学校 同窓会
電話番号 (026) 274-3310
ホームページ http://hatokai.jp.org
発行人 赤地憲一
印刷所 信長野プリントサービス

平成29年度総会開催

平成29年度同窓会総会は、5月27日(土)篠ノ井サトウ会館において、午後2時から支部長会に続いて開催された。来賓として、母校の森山弘之校長先生はじめ4名の関係皆様をお迎えして、また、南澤暁幸静岡岡支部長、飯島勇三学年理事(中学11回・97歳)ら、計83名のご出席をいただき盛況裏に開会となった。

同窓会館建設については、赤地会長から「会員の格別なご協力をいただき、去る5月15日に起工安全祈願祭をとりおこなった」こと等、その進捗状況が報告された。また懸案となっていた会費の値上げ(1,000円→2,000円)については、附属中開設に伴う母校への補助額増額や同窓会館建設にかかわる維持費等の必要に鑑み提案され、慎重に審議された結果、平成29年度予算とともに満場一致で承認された。



支部長退任者に感謝状

総会席上、28年度で退任された各支部長に、同窓会から感謝状と記念品(額縁)が贈られた。長年に亘り支部をまとめられ、組織の発展に寄与された各位に深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

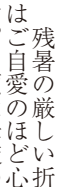
北澤俊美氏が講演



総会に続いて北澤俊美氏(高校8回、前参議院議員、第7・8代防衛大臣)による「旭日大綬章を受章して私の歩んだ道」と題する記念講演が行われた。高校時代の国語授業の懐旧談から、与党としての国会運営やわが国の防衛問題に至るまで幅広く語られた。とりわけ、平成23年の東日本大震災における救助活動では、自衛隊史上最大の10万人動員を指示されて未曾有の災害の指揮をとられたこと、また最近の北朝鮮情勢については懸念とともに、熱い平和への思いを語られた。

格別なご協力に心より感謝を申し上げます 教育者としての長谷川五作先生(その五)

会長 赤地憲一(高17回)



残暑の厳しい折、会員皆様には、まずはご自愛のほど心よりお祈り申し上げます。日頃は母校のために格別なご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、同窓会館建設につきまして、去る5月15日(大安吉日)に起工安全祈願祭をとり行うことができました。同窓生の親睦の場として、また母校に学ぶ生徒達の補習やクラブ活動の場として、また地域に開かれた諸事業の場として、以て母校の一層の発展に寄与する、この建設理念を礎に第一歩を踏み出すことができましたことは、全ての会員皆様とともに喜びとするところでございます。

「教育者としての長谷川五作先生(母校勤務・大正12年・1923年・昭和30年・1955年)」について書かせて頂いておりますが、去る6月の塩崎支部総会で「長谷川先生は博物館に興味を持たせて下さった第一の方である。話込みの知識ではなく、事実、実験を重んぜられ、大自然を見つめておられた。生徒が面白いから欠席する生徒がいない」と語ってくれたのは、荒井芳久氏(高4回)です。母校が創立された大正12年(1923年)、東京府立5中から赴任された先生は、既に国内で知られたモデルの法則が世に出たのは1900年、日本に初めて「遺

伝学教科書」が出版されたのは大正4年(1915年)、そしてその翌年の大正5年(1916年)には既に信濃教育会「尋常小学校理科学習帳」に「モデルの法則が紹介されていることはまさに驚嘆に値する」と篠遠喜人博士が書かれています(註)これも長谷川先生が編集委員に迎えられたことによるものです。

平成28年度一般会計決算書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)
収入金額 7,438,813円
支出金額 6,290,434円
差引残高 1,148,379円(次年度繰越金)

科目	予算額	決算額	増△減	備考
1 繰越金	913,903	913,903	0	前年度より
2 入会金	1,680,000	1,680,000	0	6,000円×新入生280人
3 年会費	3,900,000	4,124,000	224,000	振込1,504人、支部2,620人
4 協力金	400,000	672,600	272,600	同期会ホームカミング寄付
5 頒布品	0	13,000	13,000	同窓会名簿、封筒等
6 雑収入	97	35,310	35,213	利息、会館予定地賃料、コピー代
合計	6,894,000	7,438,813	544,813	

平成29年度一般会計予算書(案)

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)
収入金額 11,228,500円
支出金額 11,228,500円

科目	本年度予算額	前年度予算額	増△減	備考
1 年会費	8,000,000	3,900,000	4,100,000	(支部2,550人+振込1,450人)×2,000円
2 入会金	1,680,000	1,680,000	0	6,000円×280人
3 協力金	200,000	400,000	△200,000	同期会、ホームカミング寄付
4 繰越金	1,148,379	913,903	234,476	前年度より
5 雑収入	121	97	24	利子、他
合計	11,028,500	6,894,000	4,134,500	

科目	本年度予算額	前年度予算額	増△減	備考
1 総会費	220,000	220,000	0	会場費、資料作成費、懇親会費補助金
2 会議費	40,000	40,000	0	月例役員会、会報編集会議等
3 支部助成費	1,350,000	800,000	550,000	会費還元、支部総会祝儀等
4 会報発行費	2,000,000	1,700,000	300,000	会報印刷代、郵送料等
5 入学・卒業記念代	350,000	(H28は[4]額を含む)	350,000	入学生、卒業生記念品代
6 「鳩の会」助成費	1,500,000	200,000	1,300,000	NPO「鳩の会」研修助成60万、会館維持90万
7 その他事業費	250,000	(H28は[4]額を含む)	250,000	大会出場補助、ホームカミング祝儀、他
8 慶弔費	120,000	100,000	20,000	香典、弔電、銭別
9 旅費交通費	450,000	400,000	50,000	支部総会、役員会等会議の旅費
10 雑給	1,900,000	1,459,000	441,000	事務局人件費、各種御礼、他
11 消耗品費	200,000	40,000	160,000	封筒、振替用紙、用紙類、事務用品
12 通信費	450,000	1,350,000	△900,000	はがき、切手、等。(H28は会報送料約100万含む)
13 電算処理費	40,000	35,000	5,000	ソフト操作指導料
14 事務局管理費	230,000	(H28は[10]額を含む)	230,000	光熱費、複合機リース代、他
15 手数料	200,000	200,000	0	年会費取扱手数料、振込手数料
16 特別基金会計積立	1,000,000	0	1,000,000	会館維持のため特別基金会計に繰出し
17 雑費	350,000	300,000	50,000	移転、他。(H28は光熱費、リース代等)
18 予備費	378,500	50,000	328,500	
合計	11,028,500	6,894,000	4,134,500	

科目	本年度予算額	前年度予算額	増△減	備考
1 総会費	220,000	220,000	0	会場費、資料作成費、懇親会費補助金
2 役員会費	40,000	33,873	△6,127	役員会、臨時支部長会、会報編集会議等
3 慶弔費	100,000	103,602	△3,602	入卒業式生花代、転退職員銭別、電報代等
4 旅費	400,000	405,320	△5,320	支部総会・ホームカミング協会出席交通費等
5 通信費	1,350,000	1,111,615	△238,385	会報「鳩」送料、ホームカミング案内はがき、電話料等
6 消耗品費	40,000	135,198	△95,198	コピー用紙、事務用品等
7 電算処理費	35,000	30,650	△4,350	ホームページ、セキュリティ更新料
8 支部助成費	800,000	775,614	△24,386	会費還元金、支部総会祝儀等
9 事業費	1,700,000	1,490,974	△209,026	会報印刷、ホームカミング祝儀、大会出場補助、入卒業記念品等
10 事務局費	1,459,000	1,281,915	△177,085	事務局人件費
11 繰出金	200,000	353,944	△153,944	NPO「鳩の会」294,467円、特別基金会計へ59,477円
12 手数料	200,000	166,303	△33,697	年会費振込手数料
13 雑費	300,000	216,065	△83,935	事務局管理経費、複合機リース代等
14 予備費	50,000	0	△50,000	
合計	6,894,000	6,290,434	△603,566	

建設起工式行われる、棟上も7月6日に

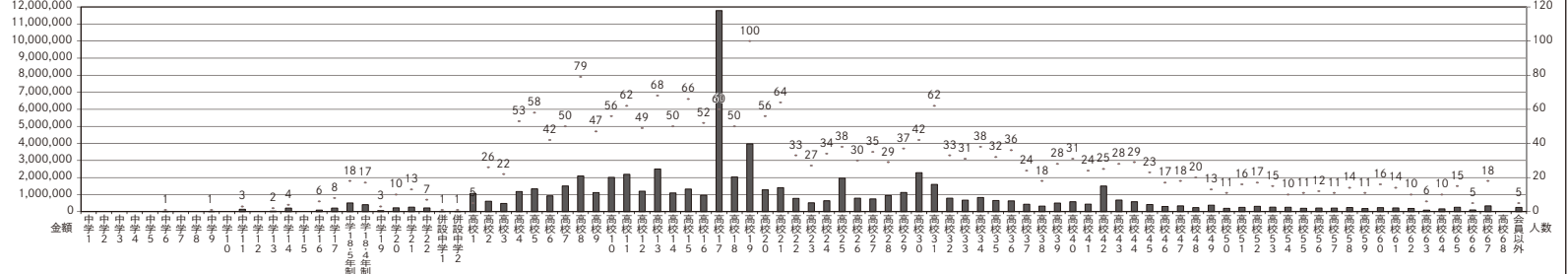
母校前の県道403号線南側に建設を計画している同窓会館について、建設等の契約が完了したことから、去る5月15日、建設地において起工式を行いました。式には同窓会役員、支部長、設計・施工業者の春原木村(長野市松代町)の関係者など30名が出席し工事の無事を祈りました。席上、赤地憲一同窓会長からは「同窓会館は長年の悲願、母校の一層の発展に寄与する建設理念の下、起工式が挙行できたことは大きな喜び、地域を含め同窓会活動の拠点として有効な活用を図りたい」とあいさつがありました。

建物には木造2階建て、延床面積は約300平方メートルで、1階には事務室と大・小2つの会議室、2階には100人収容の多目的ホールを備え、同窓生の利用の

ほか在校生の補習、クラブ活動、各種相談等の場としての活用を図って参ります。工期は約7か月で平成29年12月中旬の完成を予定しております。大雨の通り過ぎた7月6日(木)8日(土)の三日に行われ、同窓会館の棟上げが晴れやかに行われました。次々にクレーンで材木が釣られ、槌音が響き、太々とした柱が梅雨の晴れ間の青空に聳え立った。完成は12月半ばの予定。これから約六か月間に亘る工事の無事を祈りました。



屋代高校同窓会館建設寄付・学年別集計額



振込先 ゆうちょ銀行
00580191102507
屋代高等学校同窓会館建設募金



節目の年を迎えて

学校長 森山 弘之

赤地憲一同窓会長をはじめ同窓生の皆様には、日頃より本校の教育活動に對しまして、ご理解とご支援をたまわり心より感謝申し上げます。

赤地憲一同窓会長をはじめ同窓生の皆様には、日頃より本校の教育活動に對しまして、ご理解とご支援をたまわり心より感謝申し上げます。

赤地憲一同窓会長をはじめ同窓生の皆様には、日頃より本校の教育活動に對しまして、ご理解とご支援をたまわり心より感謝申し上げます。

28年度卒業式・29年度入学式報告

高校第68回の卒業式は、平成28年3月4日に行われ、283名の若鳩が母校を後に、大空へ飛び立って行った。

また、附属中学の卒業式は3月16日(木)に挙行され、卒業生78名が屋代高校に進学した。

平成29年度の入学式は4月6日(木)に挙行され、附属中学校80名、高等学校280名が、晴れて「鳩が丘」の一

現役生・既卒生共に健闘

キャリア教育係主事 宇都宮 仁

新課程入試移行2年目の昨年度入試では、センター試験や個別試験、私大入試でも「思考力」や「判断力」が増加した。

進路実績は、現役生では北海道1、東北2、筑波2、東京外語1、東京工業1、名古屋1、京都1の難関大合格に加え、信州大35、富山13、金沢8と県内4位の国立大合格者数114名を数えた。

屋代生は「三兎(勉学・班活・学校行事等)」を全力で追うことで「自立と自律」の質実剛健の精神を身につけ、受験においてもその集大成として進路実現を成し遂げている。

母校現況 後輩の活躍

平成29年度 長野県高校総合体育大会結果(春季)

Table showing sports results for the 2017 Spring National High School Sports Meeting in Nagano Prefecture, including categories like Handball, Table Tennis, and Judo.

2017年度入試 屋代高等学校結果(現役・既卒生 延べ合格者数 大学別)(4.17現在)

Large table showing university admission results for Ryusei High School in 2017, categorized by university type (National, Public, Private) and student status (Current, Former).

ハンドボール班(男女)・槍投げインターハイへ

6月3・4日に千曲市にて行われた県大会において、ハンドボール班が、男女ともに優勝(十年ぶり)し、8月に福島県で行われるインターハイに揃って出場を決めた。

悲願のアベック優勝

3年4組 宮澤 文香 女子ハンドボール班班長 悲願のアベック優勝を掴み取るまでの道は長く、平坦なものではありませんでした。

ギター・マンドリン班 全国大会(大坂)へ

本場にありがとうございました。

陸上(槍投げ)の坂本敦士君(3年7組)は、県大会を2位で通過して、北信越大会に駒を進め、この大会で5位入賞を果たし、晴れて全国大会(山形県)に出場が決定した。

文学部県大会優勝! 「俳句甲子園」へ

6月10日に長野県教育会館で行われた「第20回俳句選手権大会(長野県大会)」(通称「俳句甲子園」)で、本校のAチームが優勝(四回目)の出場で悲願達成した。

俳句甲子園(全国大会)に臨んで

班長 3年7組 坂野 萌恵

私たちが文学部は、四年前から俳句甲子園の県予選に出場してきました。そこで必要なのは「俳句の質」は勿論、自分たちの句の長所を主張し、相手の句の短所を衝いて優勢を競う「ディベイト力」です。

知の甲子園―屋高二連覇

平成29年3月4日、東京都にて「知の甲子園」の決勝大会が行われた。今回は高校1年の金井裕夢君と松本泰河君のチーム「BLOSSOMS」が優勝し、奨学金15万円を手にした。

データビジネス創造コンテスト部門 優勝(全国2位相当)

3月11日に行われた第5回データビジネス創造コンテスト(慶応大学SFC研究所データビジネス創造ラボ主催)で、本校から参加したチーム「屋代H.Y.W.」(八巻潤哉君、渡邊美緒織さん、長谷天太君)は全国2位に当たる誘客部門で優勝。

ヤマト経営セミナー 東日本優勝

第11回ヤマト運輸高校生経営セミナーで本校のチーム(秋山航君、伊藤佑太君、曾根健太君、八巻潤哉君、渡邊美緒織さん)は、「お客様利用性向上のための新サービス企画」キーマワードは「デジタル化」のテーマで全国18チームが競う中、東日本優勝に輝いた。

藤村文学賞・高校の部

鳥崎藤村にちなむ「第23回小諸・藤村文学賞」(小諸市・市教委主催)で本校2年3組の田中ゆめさんの「『宝物』の行方」が最優秀賞を受賞した。

中学生特集

棚田米のおにぎり 姨捨棚田体験学習を終えて

2年A組担任 垣内孝康先生

附属中学校では、同窓会のご協力の下、毎年2年生が姨捨の棚田の下、毎年2年生が姨捨の棚田の下、毎年2年生が姨捨の棚田の下...

だっただけである。そして、生徒は徐々に棚田の魅力を感じていった。きつかけの昼食。棚田米のおにぎりのおいしさは棚田の絶景と相乗効果を生んだようである。また、絶景に向かう途中、またまた絶景は、まさに「ここぞか味われないもの」で、ヌメツとした粘土質の土と相まって、とても集中して田植えを行うことができた。



Heart is the most important!

英語科 岡庭 亜澄 先生



3月5日、私たちはニュージーランドへ向けて旅立ちました。12時間という長いフライトを終え、飛行機を降りると、そこは夏でした。今回は20年ぶりの大雨により、青いビーチに、緑の牧草地という光景を眺めることはできませんでしたが、過ごしやすいうえに1週間でした。

1日目はホームステイ先の家族と出会い、緊張した顔でそれぞれの家庭へ向かいました。2日目は2校では歓迎会として、ニュージーランドの文化を体験し、相手と交流する機会がありました。この挨拶をする中で、相手の鼻と自分の鼻を合わせる...

の鼻と自分の鼻を合わせる。その鼻を合わせることで、相手の鼻と自分の鼻を合わせる。その鼻を合わせることで、相手の鼻と自分の鼻を合わせる...

「伝えた」という感動を得た人は、その原動力を基に積極的に話しかけ、友達の輪が広がっていききました。これからは自分の価値観や考えを表現することができるという、自分を語れる人になってほしいと思います。

このような貴重な体験を生徒とともにさせていただき、同窓会の皆様には感謝致します。本当にありがとうございました。

赤地会長、高山副会長、徳永事務局長、学校からは森山校長先生、そして高橋宏、小川修一の両副議長議員をお迎えし、盛況に開催しました。

交流会は和やかに進んだ。終盤は合唱部で活躍された5回生の合唱指導による校歌斉唱や元会挨拶員による演奏(?)が披露され、遠くから再開を期待し閉会した。

赤地会長、高山副会長、徳永事務局長、学校からは森山校長先生、そして高橋宏、小川修一の両副議長議員をお迎えし、盛況に開催しました。

交流会は和やかに進んだ。終盤は合唱部で活躍された5回生の合唱指導による校歌斉唱や元会挨拶員による演奏(?)が披露され、遠くから再開を期待し閉会した。

交流会は和やかに進んだ。終盤は合唱部で活躍された5回生の合唱指導による校歌斉唱や元会挨拶員による演奏(?)が披露され、遠くから再開を期待し閉会した。

Homeカミング鳩会・同期会・支部総会
平成29年度開催予定
高24回 平成29年2月4日(日)
高25回 平成29年2月10日(土)
高26回 平成29年2月11日(日)
高27回 平成29年2月12日(月)
高28回 平成29年2月13日(火)
高29回 平成29年2月14日(水)
高30回 平成29年2月15日(木)

支部総会
期日：平成29年2月16日(木)
場所：ホテル信濃路
人数：56名(含来賓6名)

支部総会
期日：平成29年4月23日(日)
場所：上山田温泉「ダ・クイ」
人数：10名

支部総会
期日：平成29年6月18日(日)
場所：サトウ会館
人数：14名

支部総会
期日：平成29年6月18日(日)
場所：サトウ会館
人数：15名

支部総会
期日：平成29年6月18日(日)
場所：サトウ会館
人数：15名

鳩16回
ゴルフコンペ
第31回を迎えた16回生のコンペが4月18日、長野県急Cで行われた。成績は以下の通り。
優勝 町田和夫 (GR 89)
優位 寺沢欣哉 (同 86)
三位 小林 武 (同 94)

特別寄稿

藤村文学賞 二年連続最優秀賞を受賞して

2年3組 田中ゆめの

この度は「小諸藤村文学賞」の高校生最優秀賞という素晴らしい賞をいただき、嬉しい気持ちでいっぱいです。この知らせを受けた時は、本当に信じられませんでした。しかし、家族や周囲の方々がとても喜んでくださり、ありがたく思いました。今回の受賞作「宝物」の行方では、私が小さい頃から慣れ親しんできた屋代田んぼへのシヨッピングモール誘致について、私が考えることを書きました。

※

屋代田んぼは米作りが始まったような時代からずっと守り続けられてきた条里制水田です。「千曲かるた」という千曲市の名所が登場するかるたにも、屋代田んぼの札があります。それほど屋代の人々に愛されてきた田んぼなのです。

私は今でも毎週のように森將軍塚古墳に登ります。頂上から見ると屋代田んぼは季節ごとに緑色や金色に姿を変えます。私はそれを見ることが古墳に登るときに楽しみにしています。また、私は小学生のころ、屋代田んぼで玉ねぎの収穫体験をしたり、米や麦を作ったりしました。そういった形で、屋代田んぼは自然の力や食べ物の大切さを私たちに教えてくれるもの(場所)でした。だから、この広びろとした田んぼは、シヨッピングモールよりもずっと価値のあるものであり、これからも守り続けなければならぬと私は考えたのです。シヨッピングモール誘致は、「観光客や人口の増加の面で期待ができ、生活が便利になるので賛成だ」という人の方が多いかも知れませんが、でも、よく考えてみてください。もし、そのシヨప్ప

ングモールがこの町のものと同じような品揃えの、特にお客さんが惹かれるものがないような無個性のものを作るのだとしたら、わざわざ歴史ある、屋代の人々が愛してきた田んぼを壊してまで建てる意味はあると思いますか？私はそれは屋代の「宝物」を捨ててしまうことだと思っております。私は今の屋代田んぼが大好きです。なくならないように取り返しがつきません。

※

(受賞作「宝物」の行方)は、版權が藤村文学賞を主催した小諸市にあるため、そのまま掲載することができず、今回は作品を記した経緯や概要、受賞の感想等を書いていただきました。なお、田中さんは千曲市立屋代中学校三年生に書いた作品で昨年度(高校一年生時)も最優秀賞を受賞しています(事務局)

計報

諏訪善太夫氏 (第4代会長・中14回)



4月24日。平成13年から同15年まで会長を務められ、特に創立80周年記念事業の遂行に尽力された。

富岡 武子様

4月28日。96歳。一千万円奨学育英基金創設者、故富岡直衛氏(中13回)ご令室

中澤正巳先生(元母校教諭)

7月7日。88歳。昭和25年から昭和55年まで30年間にわたり母校に勤務され、長野県高校ハンドボール界の草分け的存在であられた。

平成28年度末 人事異動 (敬称略)

内部での異動

Table with columns for 転出(異動)・退職者 and 転入(異動)者, listing staff changes with names, positions, and dates.

会員計報(敬称略)

平成29年6月7日現在 謹んで哀悼の意を捧げます。

Table listing members with columns for name, age, and date of birth.

叙勲受章者

次の方が受章の栄に浴されました。誠にありがとうございます。

平成28年度秋の叙勲

旭日小綬章

安藤 公裕氏(高13回) 東京都品川区

平成29年度春の叙勲

旭日小綬章

下崎 保氏(高8回) 千曲市稲荷山

旭日単光章

若林 健二氏(高16回) 千曲市上山田温泉

佐久間方三(高5回) 中澤 光男(高9回) 毛利 宣照(高15回) 他

幕末に人材を育てた「松代三山」一碑文に見る鎌原桐山・山寺常山・佐久間象山(松代地区住民自治協議会)

幕末の松代藩出身の偉人「松代三山」と言われる鎌原桐山・山寺常山・佐久間象山を顕彰する碑文(漢文)の原文を丁寧に写し取り、「訓読」「通釈」を施し、「余聞」「年譜・年表」を付してある。多くの方々の協力を得て成った、極めて密度とレベルの高い力作である。(相談役・徳高芳夫)

徳武 正人(高7回) 『繊維の歴史とよもやま話』(ブックオフ)

現職の頃、主に繊維関係の立案や施行に携わった著者が、その経験を通して得た知識を著した本。人類が昔からまとってきた繊維の長い歴史と併せて、繊維に関わる興味深いエピソードがまとめられている。今は懐かしい養蚕にまつわる話も多く、改めて歴史の面白さを感じることができ一冊。(副会長・栗林秀夫)

新刊・既刊の紹介

「勝つためにすべきこと 兵法に学ぶ」(経済界)

「孫娘からの質問状 おじいちゃん日本のことを教えて」(致知出版社)

「おじいちゃんのわが闘争」(致知出版社)

「子々孫々に語りつぎたい日本の歴史」(致知出版社)

「幕末の松代藩出身の偉人」(松代地区住民自治協議会)

「松代三山」と言われる鎌原桐山・山寺常山・佐久間象山を顕彰する碑文(漢文)の原文を丁寧に写し取り、「訓読」「通釈」を施し、「余聞」「年譜・年表」を付してある。多くの方々の協力を得て成った、極めて密度とレベルの高い力作である。(相談役・徳高芳夫)

「陸軍士官学校の人間学」(講談社+α新書)

※なお、作家内田英之氏による『事の成るは成る日に成るにあらず』アサヒビールの奇跡―小説・中條高徳』という作品が同窓会に寄贈されました。(編集委員 中津佳津恵)

「孫娘からの質問状 おじいちゃん日本のことを教えて」(致知出版社)

「おじいちゃんのわが闘争」(致知出版社)

「子々孫々に語りつぎたい日本の歴史」(致知出版社)

「幕末の松代藩出身の偉人」(松代地区住民自治協議会)

「松代三山」と言われる鎌原桐山・山寺常山・佐久間象山を顕彰する碑文(漢文)の原文を丁寧に写し取り、「訓読」「通釈」を施し、「余聞」「年譜・年表」を付してある。多くの方々の協力を得て成った、極めて密度とレベルの高い力作である。(相談役・徳高芳夫)

「陸軍士官学校の人間学」(講談社+α新書)

※なお、作家内田英之氏による『事の成るは成る日に成るにあらず』アサヒビールの奇跡―小説・中條高徳』という作品が同窓会に寄贈されました。(編集委員 中津佳津恵)

「孫娘からの質問状 おじいちゃん日本のことを教えて」(致知出版社)

「おじいちゃんのわが闘争」(致知出版社)

「子々孫々に語りつぎたい日本の歴史」(致知出版社)

「幕末の松代藩出身の偉人」(松代地区住民自治協議会)

「松代三山」と言われる鎌原桐山・山寺常山・佐久間象山を顕彰する碑文(漢文)の原文を丁寧に写し取り、「訓読」「通釈」を施し、「余聞」「年譜・年表」を付してある。多くの方々の協力を得て成った、極めて密度とレベルの高い力作である。(相談役・徳高芳夫)

「陸軍士官学校の人間学」(講談社+α新書)

※なお、作家内田英之氏による『事の成るは成る日に成るにあらず』アサヒビールの奇跡―小説・中條高徳』という作品が同窓会に寄贈されました。(編集委員 中津佳津恵)

「孫娘からの質問状 おじいちゃん日本のことを教えて」(致知出版社)

「おじいちゃんのわが闘争」(致知出版社)

「子々孫々に語りつぎたい日本の歴史」(致知出版社)

「幕末の松代藩出身の偉人」(松代地区住民自治協議会)

「松代三山」と言われる鎌原桐山・山寺常山・佐久間象山を顕彰する碑文(漢文)の原文を丁寧に写し取り、「訓読」「通釈」を施し、「余聞」「年譜・年表」を付してある。多くの方々の協力を得て成った、極めて密度とレベルの高い力作である。(相談役・徳高芳夫)

「陸軍士官学校の人間学」(講談社+α新書)

※なお、作家内田英之氏による『事の成るは成る日に成るにあらず』アサヒビールの奇跡―小説・中條高徳』という作品が同窓会に寄贈されました。(編集委員 中津佳津恵)

「孫娘からの質問状 おじいちゃん日本のことを教えて」(致知出版社)

「おじいちゃんのわが闘争」(致知出版社)

「子々孫々に語りつぎたい日本の歴史」(致知出版社)

「幕末の松代藩出身の偉人」(松代地区住民自治協議会)

中條 高徳(中18回)著 『日本人の気概』(致知出版社) アサヒビールの『奇跡の復活』を成し遂げ、代表取締役会長、特別顧問、名誉顧問を歴任した著者の最晩年の、日本人に贈る日本人論。(著者は平成26年12月24日に亡くなられた) 中條氏からは、図書館の方に新刊書が発刊されるたび贈呈していただいていたまじりませんでした。以下に書名を掲げ、御礼に代えさせていただきます。 「立志の経営学」(致知出版社) 「勝つためにすべきこと 兵法に学ぶ」(経済界) 「孫娘からの質問状 おじいちゃん日本のことを教えて」(致知出版社) 「おじいちゃんのわが闘争」(致知出版社) 「子々孫々に語りつぎたい日本の歴史」(致知出版社) ※渡部昇一氏との共著 「子々孫々に語りつぎたい日本の歴史」② (致知出版社) ※同右 「靖国のことを語ろう」(WAC) ※小野田寛郎氏との共著 「誘れる国」(WAC) 「小が大に勝つ兵法の実践」(WAC) 「陸軍士官学校の人間学」(講談社+α新書) ※なお、作家内田英之氏による『事の成るは成る日に成るにあらず』アサヒビールの奇跡―小説・中條高徳』という作品が同窓会に寄贈されました。(編集委員 中津佳津恵)

なる御寄付をお寄せいただきましたこと、誠にありがとうございました。事務局では、その全員の方々に御礼葉書を送らせていただいております。しかし、振り込み用紙に記載された郵便番号、御住所宛てに御礼葉書を出しましたところ、何通かは宛て先不明等々戻ってきております。原因は不明です。もし御礼葉書がお手元に届いておりませんでしたら、事務局までご一報いただければ幸いです。今後とも手違いの無いよう最善を尽くしてまいりますので、よろしく御願い申し上げます。 66号訂正 ★三支支部総会報告の稲荷山支部支部長「山崎敏男」氏の「山」の字が抜けておりました。お詫びして訂正致します。

鳩の目



附属中も高校も学年通信を発行している。或る学年のコラム担当者、かつて授業で「愛は所詮、自己愛である」と語ったところ、看護系志望の女生徒が納得いかないと嘸みつけた話を記していた。様々な「愛」の形を経験する中から、教師が「所詮」という語に行き着いたことを、その時の女生徒はまだ理解していない。但し「嘸みつけた」とことは大事なことだ。教師の仕事は、答えを示すことでも覚え込ませることでもない。考える契機を与えること。生徒はそれを自身の問題として捉え、掘り下げ模索しながら、自分なりの「答え」を見出し、いけばよい。かか的女生徒はどんな看護師になったのだろうか。「愛とは？」と尋ねてみたい。 編集委員 徳高 芳夫(高19) 吉川 正徳(高22) 徳永 次男(高25) 中津佳津恵(高47)